

## 島根県B級遺産研究会～発足と活動～

島根県B級遺産研究分科会 松浦 寛司

### 1. はじめに

島根には、くにびき神話や八雲風土記を始めとする神様に関わる書物の文化、国宝「松江城」や世界遺産「石見銀山」、更には出雲大社や多数の寺社施設に代表されるA級の歴史的施設がそここにあることはご承知の通りである。また、製鉄文化を今に伝える「たたら製鉄」の復元や、「菅谷たたら山内」の修復など、18世紀と今日を結ぶ“時間の道”も見え隠れし、将に“島根には本物がある”と言われるにふさわしいと考えている。

他方、それぞれの時代にはそこに生きた人々の生活があり、そこでは少しでも安全・便利に暮らしていくための色々な工夫がなされ利用されたものと考えられるが、時代の移り変わりにより、作り出されたそれら施設の存在さえ風化しつつあると考えている。

そこで、“島根県B級遺産研究分科会”と名を打ち、A級ではないが先人の工夫や努力が滲み出る珍遺産を調査研究してみたいと考えた。A級とB級の明確な区別は不明であるが、我々が考えるB級遺産のイメージは下表の通りである。

表 1.1 A B 級遺産の違いのイメージ

	イメージ	備 考
A級の遺産	<ul style="list-style-type: none"><li>・歴史的に重要な意味を持つ施設</li><li>・我が国最初期の施設</li></ul> <p>例：土木遺産</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・来原岩樋（出雲市：1700）</li><li>・高角橋（益田市：1942）</li><li>・福浦隧道（隱岐の島町：1867）</li><li>・今福線コンクリートアーチ橋群（浜田市：1937～）</li><li>・三成ダム（奥出雲町：1954）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・非日常的な規模</li><li>・多大な労力</li><li>・比類なき先駆性</li></ul>
B級の遺産	<ul style="list-style-type: none"><li>・暮らしの中で工夫されたもの</li><li>・各所で紹介されていない珍しいもの</li><li>・人知れずこっそりと利用されたもの</li></ul> <p>例：農林業・土木の生活施設</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・丸太を使用した掛け樋・サイホン？</li><li>・用水用トンネル・可動橋？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・日常的なもの</li><li>・生活の中のもの</li></ul>

## 2. B級遺産の定義と認定

### 2.1 B級遺産の定義

当会におけるB級遺産の定義は、先人の努力と島根愛に満ちた下記の4点を満たすものとして定義した。

- ①人々の生活の中で構築されたもの
- ②今は知られていないが、存在自体は人々に知って欲しいもの
- ③先人の工夫とアイデアが滲み出る面白いもの
- ④島根には本物があることを示せるもの

### 2.2 B級遺産の認定

上述の内容を満たす施設は色々と存在すると考えられるが、その全てを島根県B級遺産と呼ぶには余りに幅が広いため、下記の評価項目と着目点を用いた評点を行い、3つの重さ付けのシナリオを満たす施設をB級遺産と認定することとした。

#### (1) 評価項目と着目点

評価項目は「珍しさ、古さ、面白さ（重み）、工夫の内容、先人の偉大きさ」とし、各項目に対し着目点を準備しそれぞれの施設における特色評価が出来るように工夫した。

表 2.1 評価項目と着目点

評価項目	珍しさ	古さ	面白さ、重み	工夫の内容	先人の偉大きさ
着目点	・人知れなさ	・50年以前が標準	・何故造った！	・合理性	・苦労をいとわず…
	・将に「森と木」	・100年以上なら満点	・威厳	・真似してみたい感	・今日とは格段の差
			・いわく	・	・今日の施設に影響

#### (2) シナリオと認定基準

重点項目を「珍しさ、古さ、面白さ（重み）」とし、それぞれに重さ付けした3つのシナリオを作成し、認定基準は各シナリオ点が70点以上で且つ全平均点が70点以上とした。

表 2.2 評価項目と着目点

シナリオ	重点項目	珍しさ	古さ	面白さ、重み	工夫の内容	先人の偉大きさ	荷重合計
シナリオ 1	珍しさ	3	1	1	2	3	10
シナリオ 2	古さ	1	3	1	2	3	10
シナリオ 3	面白さ、重み	1	1	3	2	3	10

### 3. B級遺産の情報探し

B級遺産の定義を示し会員への情報の募集を行った結果、下記の情報が集まつた（A級遺産と想定されるものは除外）。

表 3.1 B級遺産情報集計表（その1）

番号	情報提供者	名称	所在地	アピール内容	写真
1	松浦 寛司	・H形錐コンクリート電柱	・松江市内	・電柱は、円形に非ず ・何故この断面に？ ・どうやって造る？ ・他にある？ ・製造の歴史を探してみたいと思わせる施設	
2	松浦 寛司	・水道付きBOX	・松江市八雲町	・生活用？ ・よくぞ埋設・配管 ・管理者承諾？（私物？） ・占用施設… ・どのような背景で構築できたのか、研究してみたい施設	
3	渡部 修	・小水力発電用ダム	・雲南市吉田町	・全面越流が美しい ・いつの構築か？ ・コンクリートアーチ形式 ・小水力発電施設と造られたものであり、歴史的背景を覗いてみたい	
4	松浦 寛司	・アングルラーメン橋	・雲南市大東町	・脚がありに… ・軸力で座屈しないのか？	
5	松浦 寛司	・一休さん橋	・大田市	・端に乗ったら折れない？	
6	松浦 寛司	・RC連続U型水路橋	・松江市八雲町	・用水路として活用中 ・漏水跡なし	
7	松浦 寛司	・RCT桁橋？	・江津市	・引き込み線の橋梁 ・時代の遺物	
8	北村 清	出西飛行場跡	出雲市斐川町出西	太平洋戦争末期に海軍特攻隊の基地として建設された飛行場で現在も当時のコンクリート舗装のままで残っている。資料によると「銀河」といふ爆撃機が配備され、機体は飛行場周辺の山中に掩体壕（機体を隠すため半地下の壕の中に格納されていた）が掘られそこに置かれていたとのことである。これら戦争の痕跡を調べて当時どのようにして建設されたか調査を行いたい。（別紙資料）	

表 3.2 B 級遺産情報集計表（その 2）

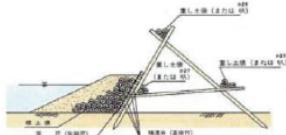
番号	情報提供者	名称	所在地	アピール内容	写真	
9	西田 修	アーチ式砂防ダム	鹿足郡木村	・キーワードはアーチ ・昭和30年度完成で三成ダムとほぼ同時期 ・完成時は堤高42mで三成ダムより高い ・近代アーチダム設計法を採用した文化財的ダム ・アーチダムの歴史を学びたい		
10	西田 修	アーチ式砂防ダム	奥出雲町三成	・キーワードはアーチ ・昭和36年完成 ・堤高27mでかなり高い ・円筒理論により設計? ・アーチダムの歴史を学びたい		
11	西田 修	アーチ橋	飯南町来島	・キーワードはアーチ ・昭和30年完成 ・橋長26m、幅員6mのコンクリートアーチ橋 ・まだ他にも古いアーチ橋があるか知りたい		
12	西田 修	治水工法(出雲結:いづもゆい)	斐伊川流域	・キーワードは治水 ・聖牛の一種で戦前までは使われていたらしい ・島根にもこのような治水工法の歴史がある(益田にもあるらしい)ことをもっと知りたい		
13	横原 豊博	昭和初期の洋風建築デザインの発電所	匹見川水系	匹見発電所 昭和3年 電所 昭和3年 豊川発電所 昭和18年		
14	池田 誠	松江市の木橋 橋、北惣橋外	千鳥	松江市	岩国の錦帯橋は有名だが、松江市内にもたくさんの中橋がある。100年橋梁に対する維持管理、職人の技術継承に興味あり。	
15	大坂伊作	堂折橋	松江市玉湯町湯町	・木橋(歩行者・自転車のみ) ・湯町西地区の住民がAコープに買い物に行くための重要路線 ・玉湯川には鯉が生息する ・竣工後、15年で使用不能になる ・現在通行止め、修繕予定あり		
16	石崎 正信	円筒分水工	東出雲町	・県内には数少ない円筒分水工		

表 3.3 B級遺産情報集計表（その3）

番号	情報提供者	名称	所在地	アピール内容	写真
17	石崎 正信	円筒分水工	松江市竹矢町	・県内には数少ない円筒分水工	
18	石崎 正信	円筒分水工	出雲市	・ポンプ施設に併設された分水工	
19	永田 良和	石積突堤	松江市八束町	・中海の波浪と高さ・大石の重量・長さの関係	
20	石崎 正信	吊り水管橋	出雲市佐田町	・用水施設として設けられた、80mの吊り用水管	

#### 4. 今年度のB級遺産の認定

##### 4.1 プレゼンテーションと評定会

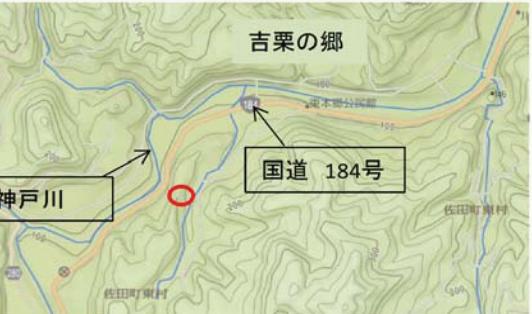
相応の研究がまとめた2題（番号1, 20）について分科会メンバーへのプレゼンテーションと会員による評定を行い、今年度活動の2件を島根県B級遺産として認定した。

表 4.1 B級遺産評定表

施設名称	評定者	珍しさ			古さ			面白さ、重み			工夫の内容			先人の偉大さ			シナリオ 1	シナリオ 2	シナリオ 3	平均	判定
		1	5	10	1	5	10	1	5	10	1	5	10	1	5	10					
H形錐コンクリート電柱	A	9			7			6			8			7			77	73	71	73.7	-
	B	9			8			7			7			8			80	78	76	78.0	-
	C	8			6			7			7			7			72	68	70	70.0	-
	D	9			6			7			8			8			80	74	76	76.7	-
	平均	-			-			-			-			-			77.3	73.3	73.3	74.6	B級遺産
吊り水管橋	A	7			8			9			4			8			70	72	74	72.0	-
	B	6			6			8			6			6			62	62	66	63.3	-
	C	7			6			7			7			8			72	70	72	71.3	-
	D	8			8			8			7			7			75	75	75	75.0	-
	平均	-			-			-			-			-			69.8	69.8	71.8	70.4	B級遺産

表 4. 2 B 級遺産帳

島根県B級遺産		No.	1
名称	H形錐コンクリート電柱		
座標		所在地	島根県松江市朝日町
B級遺産認定理由			
①電柱が木製から鉄筋コンクリート円柱へ変わりゆく狭間期に、H形錐状のコンクリート電柱を製造 ②H形錐状の本柱や矩形の控え柱も含め全てプレキャスト製作であり製造・設置に工夫を要した ③建設後60年にも及ぶが、殆ど損傷がなく極めて高い耐久性である			
周辺地図		代表写真	
			

島根県B級遺産		No.	2
名称	吊り水管橋		
座標		所在地	島根県出雲市佐田町
B級遺産認定理由			
①神戸川から比高約50mの高台集落のかんがい用に、ポンプ揚水と貯水槽、水管橋などで構築した用水施設 ②水管橋本体は、谷渡りの主塔間80mにも及ぶ吊り水管橋として架橋 ③残念ながら受益水田の耕作に終止符が打たれ、水管橋は今年(2017)10月に撤去された			
周辺地図		代表写真	
			

## 5. 今後の活動方針

島根県に残る「珍しく・面白い遺産」の調査・研究・収集を目的に発会した分科会であるが、そこには修練された技術や先人の工夫を見たい・伝えたいとの想いがある。

この研究を通して見えてくるものは、物資が乏しく先例が無い時代にも関わらず工夫と努力という術を作り上げられた貴重な遺産であり、将に“島根には本物がある”と言われるに値するものと考えている。

今後も対象となる資料の掘り起しや現地調査を行い、各施設の研究報告書の作成や全体編の編集を進め、3年を目途に「島根県B級遺産帳」を作成したいと考えている。